

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

非イオン性造影剤による急性副作用に関連する危険因子の検討

[研究責任者]

江南厚生病院 薬剤部 鶴見裕美

[研究の概要]

造影剤投与後 1 時間以内に起こる過敏症等の副作用は急性副作用と定義されており、急性副作用発症の危険因子として、造影剤による急性副作用の既往、喘息、アトピー、アレルギー歴等が知られています。一方、造影剤の投与量は危険因子として挙げられていません。造影剤の投与量は一般的に体重換算にて決定されており、肥満の場合、投与量が過剰となる可能性があります。body mass index (BMI)・体表面積と、造影剤による急性副作用発症との関連性を調査し、急性副作用発症の危険因子の検証を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2018年1月1日から2019年12月31日までの期間中に、当院にて非イオン性造影剤を用いて造影CT検査を実施された方

●利用するカルテ情報

年齢、非イオン性造影剤使用時の身長・体重

急性副作用を発症された方については、過去の造影歴、造影剤による急性副作用の既往、アレルギー歴、喘息の既往、β遮断薬の使用 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 薬剤部 鶴見裕美

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337